要請番号（SL01822C02）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タイ	G123 ソフトボール		個別	新規 2代目	2年	・2022/4・2023/1・2023/2 ・2023/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

観光・スポーツ省

2）配属機関名（日本語）

タイソフトボール協会

3）任地（ バンコク都バーンカピ区 ） JICA事務所の所在地（ バンコク都 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 車 で 約 0.5 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は1994年に日本で開催されたアジア競技大会を機に設立された。前身はアマチュアソフトボール協会であったが、2016年1月からタイソフトボール協会となった。同協会の主な活動は、タイ全国でのソフトボールの普及活動、各学校チームへのコーチ派遣による指導、19歳以下のユース大会や大学選手権等の国内大会の開催、ナショナルチームの選手育成、タイ代表チームの国際大会への派遣等である。2018年度2次隊で隊員の派遣実績あり。

【要請概要】

1）要請理由・背景

タイのソフトボールの技術力強化と普及のため、2018年に協力隊員派遣が開始された。当時は、主な活動先をバンコクの中高一貫の公立校「RITTIYAWANNALAI 2 」ソフトボールチームに定め、技術に関する助言、ソフトボールの普及活動を実施し、各大会での入賞など技術力の確実な強化に加え、チームメンバーの倍増等、着実に成果が出た。ソフトボール協会として今後は、タイ全土を対象に様々なレベルの選手、コーチに対して助言ができる人材を確保し、ソフトボール競技者のより一層の技術力向上を目指したいと考えている。また、ソフトボールを普及し、競技人口を増やすことで有望な選手を確保できるようになることを期待し、本要請に至った。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先と協議の上、以下のような活動を行う。
1. 協会関係者とともに、タイ全土の様々なレベルの選手を対象に技術的な指導や助言をする。
2. 協会関係者とともに、タイ全土のチームを対象とし、コーチらの指導力を向上させるための取り組みを行う。
3. ジュニア層代表選手選抜への助言・提案
4. ジュニア層代表選手強化合宿での技術に関する助言
5. ソフトボール指導を通じた普及活動

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

野球場、体育館、ソフトボール用具(グローブ、ボール、バット、ベース等)

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
タイソフトボール協会職員
中学・高校チームコーチ タイ国内で約30名

活動対象者:
中学・高校チーム選手(男女)

ジュニア代表選手

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
タイ語	タイ語	言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（大卒）　備考：同僚の学歴に準ずる。

[経験]：（競技経験）15年以上　備考：代表チーム指導のため

[参考情報]：

・投手又は投手指導経験があること

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候）　気温：（22～38℃位）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[電気]：（安定）

[水道]：（安定）

【特記事項】

青少年対象のスポーツの指導経験があるとなお良い。日常生活や活動上でタイ語の習得は必須。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.